1. 品質目標

- ①コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現します。(年間12件以上)
- ②Web 研修で習得した内容を実践報告します。(年間 12 件以上)

品質目標達成状況

- ①ご利用者は数年間コロナ禍の中で、ご家族との時間や外出、合同行事が開催できず、活動が制限されてきました。令和5年度はご利用者の叶わなかったご要望を実現するため、ご家族やご本人からお話を伺い、担当職員が企画調整を行ってきました。自宅でご家族と誕生祝を行う方やドライブに出かける方、ご家族企画で101歳祝いを施設で開催される方、懐かしい地元の商店を訪ねる方、数年前まで行っていたボーリング場に出掛ける方など、ご利用者やご家族に大変喜ばれ、33件のご要望を叶える事ができ目標の12件以上を達成する事が出来ました。
- ②前年度に引き続き、介護技術や知識の向上を図る為、インターネットの動画配信研修を受講し、研修後のアンケートで「この研修を受けて何を実施しようと思ったか」「この研修で最も印象に残った内容は何だったか」を記入してもらい、研修の理解度を確認する事が出来ました。また、実際に習得した内容をユニット毎の職員で話し合い、介護現場で実践する事ができ、目標の12件以上の報告ができご利用者の生活の質の向上にも繋げる事が出来ています。

2. 品質目標実施計画

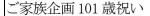
令和5年度	目標達成実施項目	実績
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	①藤子さん、3年前に亡くなった息子さんのお墓へ、ご主人と娘夫婦と
	取りを行い、計	で出掛け、手を合わせることが出来ました。コロナ禍で数年行くことが
	画、伝達、日程	出来なかった事に対しての胸のつかえが降りたと満足されていました。
4月	を調整する。	①光子さん、コロナ禍前は頻回に娘さん達とスターバックスに出掛けコ
		ーヒーを楽しんでいましたが出来なくなり、数年振りに娘さん達とスタ
		ーバックスのドライブスルーでコーヒーを買い、村内ドライブも出来て
		楽しい時間を過ごしたと満足されていました。
	②Web 研修を 1	②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。「アンケート回答 は
	る。	なの家実践報告」
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	①政徳さん、美代子さんご夫婦は3年ぶりに自宅に帰られ、新築の家を
	取りを行い、計	ご覧になり、ご家族と近所の散歩も楽しまれ大変喜ばれていました。
	画、伝達、日程	①光子さんの 101 歳の誕生祝いをしたいとご家族が企画。1 階エントラ
	を調整する。	ンスにて他のご利用者を招待しご家族の司会進行で、琉舞も披露され、
5月		ご本人も満足そうな表情をされていました。
0)1		①信子さん、娘さん達と恩納村までドライブに出掛け、美味しい物を沢
		山食べ、お孫さん達にも会うことができ「一生の思い出だね」と喜ばれ
		ていました。
		①もりの家のご利用者、職員で読谷村内の社会見学に出掛け、ゆんた市
		場をご覧になったり、天ぷらを食べたりと久しぶりの外出を楽しまれて
		いました。

	T	
	②Web 研修を 1	②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。「アンケート回答 べ
	る。	にの家実践報告」
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	①藤子さんが当日、誕生日であったため、職員の対応で自宅に送り、ご
	取りを行い、計	主人や娘夫婦、孫が集まって誕生会が開かれて、久しぶりに家族に囲ま
	画、伝達、日程	れ大変喜ばれていたそうです。
a 🗆	を調整する。	①スエさん、誕生月であった為、村内ドライブと大湾シティで買い物の
6月		雰囲気を楽しまれ、施設に帰ってからは皆さんと誕生祝いが開かれ、嬉
		しそうな表情が見られました。
	②Web 研修を 1	②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。「アンケート回答 は
	る。	なの家実践報告」
	①ご利用者の	①はなの家・べにの家でコロナ感染者が出た為、ご利用者のご要望の実
	ご要望の聞き	現はできませんでした。
	取りを行い、計	ημα C C α E / V C O / C ₀
	画、伝達、日程	
7月	を調整する。	
		②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	②Web 研修を 1	
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。
	る。	「アンケート回答 実践報告 もりの家」
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	①べにの家の雄眞さんは誕生日に外出し、座喜味の自宅で長男夫婦と面
	取りを行い、計	会し、とても嬉しそうにされていました。
	画、伝達、日程	①はなの家のキクさんも誕生日に高志保の自宅や馴染みの近所を廻り、
8月	を調整する。	偶然昔の友人にも再会。地域のスーパーで買い物を楽しまれました。
0)1		①雄眞さん、トヨさん、スミ子さん旧盆の為、外出されています。
		皆さんから満足の言葉や笑顔を見ることが出来ました。
	②Web 研修を 1	②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。
	る。	「アンケート回答 実践 はなの家」
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	①終末期のヨシさんにエイサーを見せたいとご家族から要望があり。座
	取りを行い、計	喜味青年会に来ていただき、ご本人と他のご利用者も久しぶりのエイサ
9月	画、伝達、日程	ーをご覧になり大変喜ばれていらっしゃいました。
	を調整する。	①ユニットの合同敬老会が開催され、外部から踊りや三線ボランティア
		をお招きして盛大にお祝いすることが出来き、ご利用者から満足の声を
		聞くことが出来ました。
		②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。
		「もりの家 アンケート回答 実践報告 」
	る。	

	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	①ヨシさん、家族の顔が分かる内に外出させたいとご家族から希望あ
	取りを行い、計	り、誕生日祝いを兼ねて自宅に帰られ、親族集まり盛大に祝っていただ
	画、伝達、日程	きました。
	を調整する。	①美代子さんの 100 歳のお祝いを開催するため、スーパーに一緒に買い
10月		物に出掛けて、果物を選んだりケーキを購入したりと久しぶりの外出を
		楽しまれ、ユニットに戻りみなさんにお祝いされ大変喜ばれていらっし
		やいました。
	②Web 研修を 1	②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。
	る。	「べにの家 アンケート回答 実践報告」
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	 ①政徳さん、誕生月であったため、本人希望で読谷漁港に出掛け、てん
11月	取りを行い、計	 ぷらを購入。 帰園後、 ユニットのみなさんとてんぷらを召し上がりなが
	画、伝達、日程	ら誕生日を祝っていただき、喜ばれていました。
	を調整する。	 ①政徳さん、美代子さん夫婦そろって自宅に帰られ、県外から帰省され
		た娘さんと食事会をされ大変喜ばれていたとのことです。
		 ①静江さん、以前から要望されていた息子夫婦が経営する居酒屋に職員
		と出掛け、記念写真と総菜を買われ帰園後、ユニットで誕生会を開催さ
		れ喜ばれていました。
		②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。「はなの家 アンケー
	る。	ト回答 実践報告
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
	ご要望の聞き	①信子さんが娘さん達と 2 時間くらいドライブに出掛けて楽しまれて
	取りを行い、計	いました。
	画、伝達、日程	①秀子さん、藤子さん、信明さん、ツルさん、雄眞さんお正月に外出さ
10 日	を調整する。	れご家族と過ごされ帰園されました。
12月		①スミ子さん、トミ子さんはお正月に外泊され家族と過ごせて楽しかっ
		たと満足の声をいただきました。
	②Web 研修を 1	②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。
	る。	「べにの家 アンケート回答と実践報告」他 2 ユニットも実践報告あ
		り。
	①ご利用者の	コロナ禍でご利用者の叶わなかったご要望を実現できた。
1月	ご要望の聞き	①1月4日はエントランスで3ユニットのご利用者が集まり、お屠蘇会 た間似しました。比よりで略な問い、手佐り神社でお考りしむなくださ
	取りを行い、計画に満り出	を開催しました。皆さんで歌を唄い、手作り神社でお参りとおみくじを
	画、伝達、日程	引いていただき、獅子舞も登場。その後はお屠蘇とお菓子を召し上がっ
	を調整する。	て頂きながら、ユニット間の交流も出来ました。ご利用者から「同じ字」
		の人とも話ができ、おみくじもあって面白かった」と大変喜ばれ満足さ
		れていました。
	②Web 研修を 1	②ユニット毎に Web 研修を実施し、習得した内容をご利用者のケアや業
	人月2件受講す	務で実践したことを報告することが出来ました。
	る。	「もりの家 アンケート回答 実践報告」ユニットも実践報告あり。

	①ご利用者の	コロナ禍でご	が利用者の	叶わなか〜	ったご要望	を実現で	きた。		
	ご要望の聞き	①信子さん、娘さんと外出され村内のコスモス畑を鑑賞されて帰園、楽し							
	取りを行い、計	かったと喜ばれていました。							
0. 🗆	画、伝達、日程	①信明さん、息子さんと自宅に帰られ、3時間ほどご家族と過ごし戻られる。							
2月	を調整する。	別れ際に感情失禁あり、うれしかったご様子でした。							
	②Web 研修を 1	②ユニット	毎にWeb 積	肝修を実施	し、習得	 した内容を	こ利用者	のケアや業	
	人月2件受講す	務で実践し	たことを幸	報告するこ	とが出来	ました。			
	る。	「はなの家」	アンケー	ト回答 実	[践報告]	他2ユニ	ットも実践	桟報告あり。	
3月	①ご利用者の ご要望の聞き 取りを行い、計 画、伝達、日程 を調整する。 ②Web 研修を 1 人月 2 件受講す る。	グ場へ出か ②はなの家 ートと実践 令和5年4 ①要望 ②実践	、わ外、いけ・報月 年でし生のボりが令月件 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	宅祝宅で仲リ家り6年でいであのン・ま年3月件113件113件	カこ族為ご満の。年 6 2 1 12 8 12 8 14 15 8 16 17 8 17 8 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1	がりいをとてニ (①7月件 1件 1件 1件	かさいボでたら いボでたら かんまー北。 いまー北。 いは り り り り り り り り り り り り り り り り り り	で、今月の で、今月の がでメイク ががしたい ががでアンケ 「目標達成) 9月 2件 1件	
						, ,			
	.00				Г	 	<u> </u>		
		①要望	2 件	3 件	8 件	1件	2 件	2件	
		②実践	1件	1件	3件	3件	3件	3件	
1	1								







合同お屠蘇会



5年振りのボーリング場

3. ケアプランの策定

課題分析により、ご利用者の有する能力に応じ自立した日常生活を支援することを目的に、食事、排泄、入浴における自立支援を目標に策定してきました。

(1) ケアプラン(サービス計画書) 作成担当者及び手順

作成担当者を介護支援専門員とし、ご利用者が要介護更新認定又は、要介護状態区分の変更認定を受けた場合サービス計画書を作成することができました。

- ① 課題分析(アセスメント)により、自立支援に向けた解決すべき課題を抽出し、ご利用者及びご家族の希望を勘案し、サービス計画書原案を作成。
- ② サービス担当者会議を開催、施設長、生活相談員、栄養士及び介護サービス提供にあたる介護職員、看護職員、機能訓練員を召集しサービスご利用者、サービス計画書原案の

内容について、専門的な立場から意見を取り入れてきました。

- ③ サービス計画書原案の内容についてご利用者又はご家族に対して説明し、文書によりご 利用者の同意を得、交付することができました。
- ④ サービス計画書を作成後、サービス計画の実施状況の把握「モニタリング」に当たっては、ご利用者及びその家族との連絡を継続的に行うこととする。又定期的に、各担当者の意見を踏まえて、サービスの評価及び、目標設定の評価を行い、必要に応じて変更を行ってきました。

(2)機能訓練

作成担当者を機能訓練員とし、サービス計画書作成時、機能訓練計画書を作成して来ました。

- ① 生活機能を中心に食事、排泄、入浴、移動など日常生活の不自由さの身体機能・精神的機能を評価し日常生活において「実施している活動」、機能訓練時の「できる活動」を分け、潜在的生活機能の「促すと出来る」活動を活かし、「実施している活動」への向上を目標に情報を抽出。ご利用者及びご家族の希望を勘案し、機能訓練計画書原案を作成してきました。
- ② 機能訓練計画書原案の内容についてご利用者又はご家族に対して説明し、文書により、利用者の同意を得て、実施することができました。
- ③ 機能訓練計画書を作成後、機能訓練計画の実施状況の把握を行い、必要に応じて変更することができました。

生活リズムを整えるために、朝食後それぞれのユニットのリビングで、ラジオ体操や健康体操を行う事で一日の始まりとして習慣化しています。歩行訓練では、日頃車椅子を使用しているご利用者に対して、歩行器を使用して室内外を散歩しながら、楽しく訓練して頂いています。また、廊下の手すりを活用した立位訓練や、ベッド上での可動域訓練、リビングでくつろいでいるご利用者にマッサージをしながらお話しを伺い心理、精神ケアも行なっています。

A:関節可動域訓練 B:立ち上がり訓練 C:生活動作訓練 D:筋力強化訓練

F: 心理・精神ケア G: ラジオ体操

延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月
A	210	217	210	217	217	213	335	360	372	374	348	372
В	810	811	778	752	756	754	831	824	863	847	812	834
С	840	899	808	780	787	784	868	854	894	878	841	868
D	840	899	808	780	787	784	862	854	894	878	841	865
Е	234	217	212	182	138	153	178	210	213	227	232	235
F	840	899	808	780	787	784	862	854	894	878	841	865
G	571	579	512	320	434	421	538	496	511	524	538	523

4. 介護サービス

(1)介護サービスと生き甲斐づくり支援

ご利用者の能力に応じ、洗濯物たたみ、おやつ作りの手伝いやプランターに野菜の苗を植えたり、また施設内のまちやぐぁーに出掛け、お菓子の買い物を楽しまれるご利用者もおり、それぞれユニットで生活支援を行ってきました。

(2)食事サービス

多職種と連携を図り、ご利用者の状態に合わせた食事形態を提供しています。ユニットのキッチンではご飯の炊ける匂いや職員が味噌汁を作る様子が見え、配膳の際はメニューを紹介し食事が楽しみになるよう工夫しています。毎食後は食事量を確認し、体重増減の観察にも努めていま

す。厨房においては高齢者向けに食べやすく調理することはもとより、季節の行事に合わせたメニューを提供。家庭と同じように陶器の食器を使用し、より美味しく見えるよう盛り付けを行っています。また管理栄養士が定期的にご利用者からリクエストメニューを伺い提供「美味しい」と大変喜ばれています。







(にぎり寿司)

(コーヒーゼリー)

(牛肉のトロトロ煮込み)

(3)排泄サービス

トイレでの排泄を可能にするために、定期的なトイレ誘導や行きたいときにトイレに行くことができるよう、個々の排泄パターンや習慣の把握に努め、可能な限りトイレでの排泄援助を実施し、本人の排泄リズムに沿った支援を心がけてきました。又、居室にトイレが設置されている為、常に清潔に努め、使用中はトイレのドアを閉めプライバシーの保護にも努めてきました。

(4)入浴サービス

ご利用者の入浴は、可能な限り本人の希望に沿った入浴時間を提供し、お一人で入っていただき、重度の方に対しては職員 2 人で介助を行い安心して入浴できるように努めています。状態に合わせてシャワーチェアやストレッチャーでの入浴を実施し、ご自分でできるところはやっていただくよう自立支援にも努めてきました。

(5)生活相談、家族との連携

常にご利用者の心身状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、ご利用者又はそのご家族に対し、その相談に適切に応じるとともに必要な助言その他の援助を行ってきました。また、その都度、ご利用者の状態の報告を行うことで病院受診や緊急時には、ご家族との連携がスムーズに行うことができ、早期に対応することができました。令和5年度はご家族との面会や外出、外泊を緩和することが出来たことで、久しぶりに自宅でのお盆やお正月を迎えられ、大満足されていらっしゃいました。

5. 地域交流・ボランティア受け入れ

令和5年度は生け花ボランティアや、エイサー、敬老会などの余興ボランティアもお招きできるようになり、交流も図れご利用者は大変喜ばれておりました。また地域住民代表、有識者、民生員、入居者で構成する運営推進会議においても、書面発送で行ってきましたが、施設での開催ができるようになり、直接、ご意見やアドバイスをいただくことができました。







6. 職員教育訓練

令和5年度は、インターネットでの動画配信による研修を中心に介護技術の向上、知識の習得を目標に課題項目を受講することが出来ました。

令和5年度受講した研修名

- ・排便に有効な運動・認知症と身体拘束
- ・認知症が安心する事例集(妄想・誤解)
- ・認知症が安心する事例集(入浴拒否)
- ・姿勢ケアの基本的な考え方
- ・身体拘束の基礎知識・関節リウマチの介護
- ・死を直前にしたケアのポイント
- ・認知症者とコミュニケーション法2ユマニチュード・高齢者の心身の特徴
- ・腰痛予防対策と腰を痛めない介助法
- クレーム・苦情法
- ・認知症ケアの専門性を理解する
- ・信頼関係の構築・統合動画/介助の基本
- ・統合動画/移乗・利用者の人権と尊厳
- ・利用者の真の主訴を考える・虐待と不適切ケアを防ぐ・身体拘束防止の具体策
- ・ヒヤリハットの目的と意義
- ・高齢者の転倒予防・自立支援とは
- ・歩行の介助・食中毒の知識・食事姿勢ケア
- ・廃用症候群の知識と坐位の効果
- ・拘縮した手の開き方・接遇の理解と現場にふ さわしい言葉遣い・言葉の影響
- インフルエンザ・ノロウイルス対応
- ・感染対策において求められるもの
- ・標準乱戦予防策・事故発生後の対応
- ・認知症が安心する事例集(夜間不眠)

- ・認知症が安心する事例集(反復行為)
- ・認知症が安心する事例集(入浴拒否2)
- ・認知症が安心する事例集(一人歩き)|
- ・行動・心理症状・問題行動はなぜ起きるのか
- ・認知症とのコミュニケーション法1バリデー ション・食後の口腔ケア・認知症の三分類
- ・報告の仕方・チームで取り組むという事の意味・正常な排泄とは・無理のない業務改善の仕組み作り・褥瘡発生のメカニズムとずれについて・介護職の医療行為について・パーキンソン病の基本・パーキンソン病の介護
- ・緊急時対応・記録のポイント
- ・誤飲時・以上の早期発見
- ・認知症が安心する事例・看取りケアの基本
- ・認知症が安心する事例集(集団作業)
- ・認知症が安心する事例集・高齢者の衣類
- ・無理のない業務改善の仕組み・介護の基本
- ・安全の決め手となるコミュニケーションと確認・遊びりテーションとは・食事介助の姿勢
- ・解剖学座位を考える・介護現場の衛生管理
- ・身体拘束をしない為の具体策
- ・事故を未然に防ぐには・腰痛予防策と腰を痛めない介助法・チームワークを高める合意形成・対人トラブル心理学

受講後のアンケートでは、介護に対する意欲が伝わり、実際に介護現場で実践し、各ユニット報告もあり、ご利用者のサービス向上及び介護技術、知識の向上に繋がっています。

7. 防災管理

昼間1階べにの家のユニットから出火したと想定した訓練と、夜間もりの家のユニットの洗濯場のコンセントから出火したと想定した自衛消防訓練を実施。これまで積み重ねた訓練を活かし、スムーズな消火、避難誘導を行う事ができました。地域住民の応援という事で運営推進委員の方で元消防隊員という視点からアドバイスを頂く事ができました。今年度は消火器だけではなく、消火散水ホースの使用方法も確認する事もできました。今後も防災意識を高め、地域との協力体制の構築に努めていきたいと考えています。







8. 行事

令和5年度は、下半期頃からコロナ感染症の感染対策も緩和され、徐々にボランティアの受け 入れやご家族の面会や外出も可能となり、施設内外での活動も増えてきました。生け花クラブ やおやつ会、誕生会、季節行事を計画し、ご利用者の日々の生活に楽しみを感じていただける よう支援してきました。

令和5年度	内 容	実施担当
	はなの家のトミさんの97歳の誕生日を迎えられユニットのみなさん のお祝いされ、お菓子をいただきながら会話を弾ませていました。	池原
4月	4月の生け花クラブではスターチス、ガーベラ、カーネーション、スプレーカーネーションのお花でボランティアの先生の手本を見ながら生け、ご利用者は「とってもきれい」「上等」と嬉しそうに生けていらっしゃいました。	宇榮原
	もりの家の母の日外出支援 数年振りにもりの家全員で村内ドライブし、ゆんた市場では野菜を手に取って値段や新鮮さを確認するご様子も見られた。残波岬で小休憩しながらてんぷらを召し上がって頂きました。	鈴木
5月	はなの家のツルさん99歳の誕生日。皆さんが集まりケーキを前にお祝いされていました。皆で歌を唄ったり、カチャーシーを踊ったりと、楽しい時間を過ごされていました。	岸本
	月の生け花クラブは真っ赤なバラ、スプレーカーネーション、ヒペリカム、カスミ草などゴージャスな色合いで、ご利用者から思わず「バラが咲いた~バラが咲いた~」と合唱が始まりました。	宇榮原
6月	べにの家のスエさん 91 歳の誕生会。地元めぐりや、昔はよくリウボウに出掛けていたと家族からの情報があり、リウボウではなく大湾シティに出掛け食料品や衣料品売り場を散策、表情も活き活きされていたとのこと。施設に帰ってから皆さんと誕生祝いを行ってました。	嘉納

	はなの家の藤子さんの誕生日に、ご主人や親戚、お孫さん達が待っ	
	ている自宅へ帰り、皆さんに囲まれ誕生祝いをされています。久し	
	ぶりに会った親戚の人と涙を流しながら語りあっていたそうです。	
	施設でもおやつ会を兼ねて誕生日をお祝いされていました。	
		上運天
	6月の生け花クラブはタンチョウアイアム、バラ、トルコキキョウの	
6月	三種類で先生のお手本を参考にされ、個性的に活けていました。	宇榮原
	もりの家で父の日バーベキューを開催。ご利用者も一緒に下拵えを	
	行い、テラスでお肉屋、焼きそば・ウインナー・焼き鳥を焼き、み	
	んなで父の日をお祝い。歌や踊りもあり楽しい時間を過ごしていま	
	した。	
		比嘉
	もりの家でフジ子さんと源次さんの誕生会を開催。ケーキや飲み物 を前にみんなで歌を唄いお祝いされていました。	比嘉
7 日	はなの家でおやつ会が開かれました。お菓子や飲み物を準備し、若	去江
7月	い頃の話などで盛り上がり、ご利用者同士の交流を楽しみました。	友江
	べにの家の文子さんの誕生祝いの為、村内ドライブと自宅まで出か	
	け、家の前で息子さんと記念写真も撮り久しぶりに自宅に帰る事が	
	でき大変喜ばれていました。施設でも誕生祝いを行いました。	
8月		嘉納
	はなの家でキクさんの誕生会が開かれ、自宅近くをドライブ楽しみ	
	ました。近くの商店にも寄り、偶然友人とも再会。懐かしい話も聞	
	くことができ、キクさんをもっと知ることができました。後日他の	上運天
	ご利用者さんと誕生日をお祝いしています。	

	8月の生け花クラブでは、カーネーション、リンドウ、ユリで先生が 生ける前に始める方や男性の方も始めて参加され、周りの方から話 しかけられ終始和やかな雰囲気でした。	宇榮原
	もりの家で敬老会を開催。ご利用者は数目前から楽しみにされ、職員による余興やボランティアさんの琉舞、子供達の棒術やエイサーなど盛りだくさんで沢山の笑顔が見られました。	知花
	9月の生け花クラブは姫アスター、リンドウ、カーネーションをアレジ。お花を生けながら、ご利用者から「お花があると楽しい気持ちになるね」「あなたはどこの人ね」などお話も弾み楽しい時間を過ごされていました。	
9月	べにの家・はなの家が合同で敬老会を開催。1階のエントランスで紅白幕や金屏風、ひな壇、各テーブルにはお花の飾り祝いの会場を準備。ボランティアによる民謡ショーや琉舞研究所の方の踊り、職員による余興で盛大変り上がり、トーカチ祝いの知花さんとお招きした娘さん達も大変喜ばれ「感動しました。ありがとうございます」とお礼の言葉を頂きました。2 ユニットのご利用者と職員が楽しい時間を一緒に過ごす事が出来ました。	友江 前川
	べにの家ではタケさんの88歳の誕生日の祝いに、みんなでゲームを楽しんだ後にケーキ屋ジュースを頂き、賑やかにお祝いされていました。	東恩納前川
	はなの家で初枝さんの誕生会が行われ、歌を唄ったりお祝いの言葉 を述べたり賑やか時間を過ごされました。ケーキを焼きご自分達で あんこやクリームなど好きな物を挟んで食べて頂きました。	大見謝
	コロナの影響でエイサー訪問も自粛していましたが、ご家族の計らいで座喜味青年会のエイサーが来てくれました。施設玄関前に各ユニットから入居者と職員が集まり「久しぶりに見たさ」と力強い太鼓の音や踊りに感動して涙される方もいらっしゃいました。	宇栄原

	もりの家でスミ子さんと美代子さんの誕生会が開かれました。美代子さんと職員が近くのスーパーに買い出しに出掛け、ミカンやバナナを選んで頂き、ジュースやお菓子を購入して施設に戻り、職員手作りのケーキを囲み、お二人の誕生会を行いました。	滝
10 月	10月の生け花クラブはガーベラ、トルコキキョウ、すかしゆりで全体的に短めに生けるのが花の持ちも良いとのこと。先生のお手本を見ながら「もっと短いのがいいかね」などお隣の方と相談されたりするご様子が見られ、花を通して交流が出来ました。	宇榮原
	はなの家ではヨシさんの 97 歳の誕生会が開かれ、歌を唄ったり、踊ったりされ手作りのケーキを囲み皆さんでお祝いしています。	大見謝
	べにの家でおやつ会があり、元コックさんの雄眞さんがたこ焼きを 担当し、春子さんがヒラヤーチーを焼くなど、仕込みから焼きまで ご利用者が担当して下さいました。よほど美味しかったのか他の方 のお皿にも手を伸ばして食べる方もいらっしゃり、好評だったよう です	東恩納
11月	はなの家の静江さんと茂子さんの誕生会が開かれました。静江さんは以前から息子さん夫婦が経営する居酒屋に行ってみたいと希望されていた為、職員と共に居酒屋へ出かけて、息子さん夫婦と一緒に記念写真を撮り、惣菜も購入して帰ってから皆さんで召し上がっていました。	薄井
	もりの家のエミさんと政徳さんの誕生日の為、政徳さんのご希望で 好物のてんぷらを買いに都屋漁港へドライブがてら出掛けました。 施設に戻ってから、皆さんでてんぷらを食べながらお二人の誕生日 をお祝いしました。	橋詰
	11 月の生け花クラブでは、金魚草、小ひまわり、アスターで切った花を、オアシスに挿すのも大変な作業ですが皆さん一生懸命生けていらっしゃいました。	宇榮原
12月	もりの家でクリスマス忘年会が開かれ、職員手作りのケーキ屋やピザ、てんぷら、葛餅などをテーブルいっぱいに並べ、パーティーは食事をメインにして堪能されていました。	吉田

12 月	はなの家でも、クリスマス忘年会が行われ、始めにシャンパンで乾杯し歌や踊り、ゲームを楽しまれ、また今年を振り返りあいさつをされるなど楽しい時間を過ごされました。 べにの家でクリスマス忘年会が開かれ、クリスマスの行事食の日でもあった為、厨房の職員が目の前でブッシュドノエル風ミートローフを盛り付けるサプライズもあり、美味しい食事を召し上がりました。	友江
	12 月の生け花クラブはクリスマスが近いという事もあり、白のカーネーションや赤いガーベラ、ヒペリカム、ヒバの葉でクリスマスカラーでした。男性の入居者さんもいらっしゃり「石原裕次郎が来た」と和やかで楽しい時間を過ごしています。	宇榮原
1月	各ユニットのご利用者が集まり、合同のお屠蘇会を行いました。ご利用者からの新年の挨拶を始め、1月1日の歌を合唱。もりの家の職員による獅子舞や手作り神社でお参りやおみくじを引いてもらい、すべて大吉で「良い知らせが来るでしょう」「思わぬ大金が入るでしょう」「今よりもっと元気になるでしょう」などのおみくじを読んで喜ばれていました。お参りの後はお屠蘇や茶菓子を頂きながら他のユニットのご利用者と雑談され良い交流となりました。	宇榮原嘉数前川
	べにの家では、トヨさんと初美さんの誕生会が開かれ、歌やゲーム を楽しんだ後は、お茶やケーキを頂きながら談笑されていました。	饒平名 金城
	1月の生け花クラブはガーベラ、ストック、トルコキキョウ、パステルアスターで色鮮やかで春を感じさせてくれました。他のユニットの方やボランティアの方とも話が弾み、楽しそうに交流されていました。	宇榮原
	はなの家では節分とおやつ会が開かれ、豆の代わりに新聞紙の玉を 投げて鬼を払い、福を呼び込むことができました。 甘納豆とお菓子 を食べ無病息災を願いました。	友江
2月	べにの家でハツエさんの 102 歳の誕生日を行いました。ドライブに 行く予定でしたが悪天候の為中止となりましたが、みんなでゲーム や歌を唄い、美味しいケーキも召し上がって楽しそうでした。	宮城
	2月の生け花クラブはチューリップ、スイトピー、スプレーカーネーションでした。 先生がお手本を活けているも待ちきれずに生ける方など、「これは何という花ね」「これでいいかね」など楽しそうなご様子でした。	宇榮原

	もりの家ではトミ子さんの97歳の誕生日に本人希望で娘さんの家を 訪ねることになりました。職員の対応で娘さんの自宅に向かい、娘 さんと記念写真を撮り、会話も楽しみました。施設に戻ってから、 皆さんに誕生日を祝ってもらい大変喜ばれていました。	比嘉
	はなの家では、信子さんの誕生月であったため、村内ドライブに出かけ、ヒスイカズラを鑑賞してきました。その後ゆんた市場で買い物を行い施設に戻り皆さんとお土産のお菓子を頂きながら楽しい時間を過ごしています。	岸本
3月	べにの家で、雄眞さんの誕生月の為以前から話していた「ボーリング場に行ってボーリングがしたい」との要望を叶える為、北谷町のボーリング場に出掛け1ゲームを楽しまれています。	
		宮城

10. 職員研修(社外)

令和5年度	受講者	研修内容	成果
5月	友江	ユニットリ ーダー実地 研修	鹿児島県 特別養護老人ホーム慈願寺園にて高齢者とその生活の理解や人間の尊厳。ユニットケアの理念と目指すもの、快適な環境づくり。他施設での研修を通じて入居者の思いを知り、高齢者の支援の具体的な方法など「ユニットケアとは」を改めて学ぶ事が出来た。
9月	東恩納	認知症介護 基礎研修「e ラーニング」	1,認知症の定義と原因疾患の理解。2,認知症の中核症状と行動・心理症状の理解。認知症ケアにおいて基礎となる理念や考え方。認知症ケアの基礎技術を習得する事が出来た。
10 月	知念	令和5年度主 治医意見書 研修 (web 研 修)	主治医意見書の記載方法等について 主治医意見書のすべての項目の詳細を理解するこ とができ、看護、介護、厨房の職員が利用者のため に行っている「介護の手間」を随所に記入する事の 大切さを再認識できた。
11月	前川 橋詰 後間 新垣	沖縄県老人福祉施設職員研究大会係委員	大会の受付、会場係の役割を果たし老人福祉施設職員研究大会を無事終えることができた。4分科会で介護人材の確保、育成、定着、処遇改善の取り組みについて研究内容を聞き知識を習得している。

12 月	知花	ユニットリーダー研修	ユニットリーダー研修として座学2日オンラインで行う。ユニットリーダーの役割、ユニットケアの理念と意義。ケアのマネジメント。ユニットケアのマネジメントを学び、ユニットリーダーとしての知識を習得できた。
------	----	------------	---

11. 資格保持数(単位:人)

令和6年3月31日現在

介護福祉士	介護支援専門員	看護師	社会福祉主事	管理栄養士	社会福祉士	合計
12 人	1人	2人	0人	1人	0人	16 人(重複あり)

12. 統計資料

(1)利用·終了状況(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
新規	0	1	1	0	2	1	2	0	0	1	0	0	8人
終了	0	1	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	7人

(2)地域別

地区	楚辺	長浜	大湾	高志保	波平	宇座	大木	瀬名波	渡具知	座喜味	上地	渡慶次	伊良皆	喜名	合計
人数	3	1	1	5	4	1	1	3	1	3	1	1	1	1	29 人

(3)介護度別

要介護度	要介護 2	要介護3	要介護 4	要介護 5	平均介護度		
人数	1	6	14	9	4.0		

(4)延人数·稼働率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	96.6	93.8	93	90	87.5	90	95.9	98.3	99.4	99	100	96.3	94.9
延人数	840	843	809	810	787	784	862	855	894	770	841	866	830

(5)年齢別

性別/年齢	65~69 歳	70~74歳	75~79歳	80~84 歳	85~89歳	90~110歳	合計
男性	0	0	0	1	3	2	6人
女性	0	1	2	0	7	13	23 人

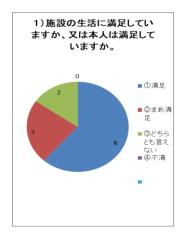
(6)平均年齢

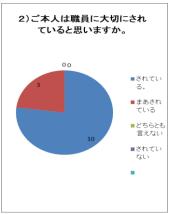
性別	男女別平均	平均年齢
男性	88.2	90.5 歳
女性	91.1	30.0 成

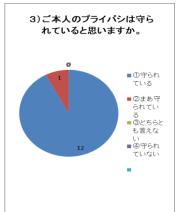
(7)面会者数(単位:人)

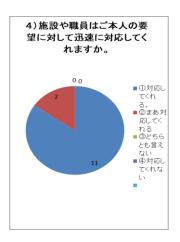
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
109	74	29	50	58	124	103	81	95	78	99	148	1,083 人

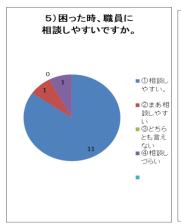
令和5年8月満足度アンケート ■満足 ■まあ満足 ■ どちらとも言えない ■ 不満

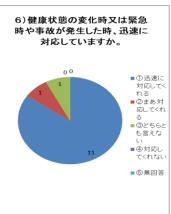


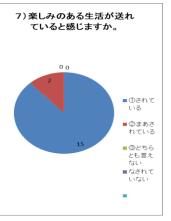


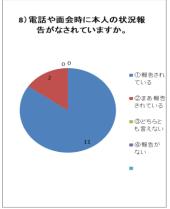


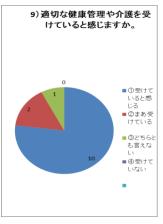


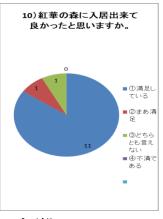












アンケートのご意見・ご要望

- ・お誕生会や夏祭りと季節の行事等も計画していただき、楽しい雰囲気が伝わります。いつも感謝でいっぱいです。
- ・入所できて、本人はもちろん、家族としても感謝しています。残り少ない人生を楽しく過ごしても らえればと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。大満足です。
- ・お世話になっております。感謝!以前、発行されてました月刊新聞の再発行があると嬉しいのですが・・・希望です。

回答→利用者の誕生月に合わせ個々人の新聞を発送しています。ホームページにて随時、行事等の 配信をしていますのでご覧になっていただきたいと思います。

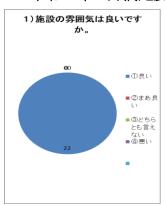
- ・床ずれさせないように気を付けて下さい。 回答→排泄ケアのweb研修や講師を招いて勉強会等利用者一人一人に合った排泄ケアで快適に過ご せるよう取り組んでいます。
- ・回答→相談しにくいとの声があります。電話や郵便受への投函でも構いませんのでご遠慮なく申し

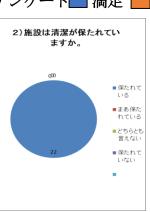
出て下さるようお願いいたします。お気軽に声掛けくださればありがたいです。 皆様の声を利用者の処遇改善に繋げられるよう数多くのご家族のご意見を頂きたいと思います。

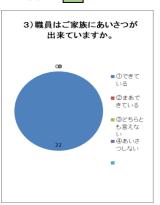
- ・いつもお疲れ様です。大変ありがたく、心より感謝します。良かったです。
- ・きれいで、清潔な紅華の森さんへ入所でき、大変喜んでいます。本人はわがままで皆さんに迷惑をかけていないか心配です。家で、4人で交代して介護したけど 1 か月でダメでした。預かってもらえるだけでありがたいことだと思っています。ありがとうございます。
- ・感謝あるのみです。よい関係つくりのために担当職員を知りたいです。

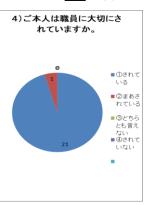
今年度はコロナが5類になりこれまでのガラス越しの面会が緩和され、対面での面会ができるようになりました。アンケート内容について、施設内で過ごされるご利用者の様子や職員との関わりが徐々に増えてきたので答えられる内容になっていると思いますが、26 名中 13 件で回収率 50%・①満足77.6%②まあ満足 14.5%となっています。ご家族全体の満足度を確認するには十分な回答とは言えない結果となっています。回収率が低いことから、地域の方が参加される運営推進会議において、配布時期や回収方法について相談を行いました。ご家族の面会時や行事などで来訪した際に、アンケートに記入していただく等のアドバイスを受けました。これまで制限してきた行事も今後は再開することから、直接記入していただく方法を検討していきたいと思います。

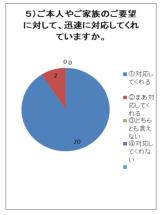
令和6年2月満足度アンケート■満足 ■まあ満足 ■ どちらとも言えない ■不満

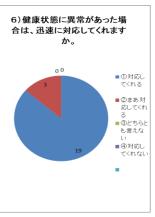


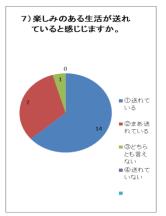


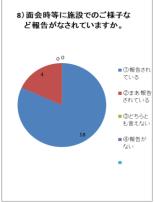


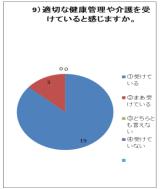


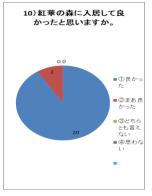












アンケートのご意見・ご要望

- *いつもお世話になっています。お疲れ様です。安心しております。本当にありがとうございます *いつも突然の訪問にもかかわらず、心よく対応していただき、ありがとうございます。これからも よろしくお願いします。お疲れ様です。ありがとうございます。
- *家族全員とても、大満足し、安心しております。また内地にいる家族も HP 等を見ています。いつも本当にありがとうございます。
- *とても良かったと思います。病院に連れていってと(微熱・便秘等)簡単な事で呼び出されていたので、今は安心しています。次は私も入れるように願っています。
- *大変お世話になっています。引き続き宜しくお願いいたします。
- *ここには入れて良かった。お父さんの時からとても良くしてもらっているので感謝しています。
- *母親が101 才とこんなに長生きするとは思わなかった。この施設の運営がとてもよく長生きの要因だと思います。ありがとうございます。
- *母の笑顔を見て、家族一同満足しています。家で介護していた時いろいろありましたが入所後は落ち着いており近くにある良い施設に入所することができて本当に良かったと心より感謝しています。 *家族としましては手厚い対応に心より感謝いたしています。この調子で今後も宜しくお願いします。 只、面会の日によっては声が出ないときがあるのは気がかりです。
- *母の顔をみるのが楽しみになっています。私も紅華の森にお世話になりたいと思います。
- *施設の皆様の日々の対応にいつも感謝しています。届け物をしに行っただけなのに面会できますよとの声掛けもあり会わせてもらえて嬉しい限りです。これからも宜しくお願いいたします。
- *ばあちゃんの顔色、つやが、いつもいいので感謝しています。

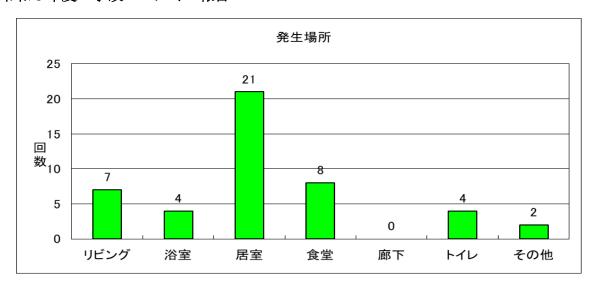
今回は面会に来られたご家族に直接ご回答いただく形と郵送の両パターンを取らせていただいた結果、29名中、22名からご回答があり、回答率が75.8%と前回より増加しました。満足89.3%・まあ満足9.9%となりました。施設の雰囲気、清潔感、職員のあいさつなどは、たくさんのご家族に高評価を頂きました。皆様からのお褒めの言葉は大変うれしく、やり甲斐を感じております。しかしご利用者様への対応の部分では満足に届かない項目があり、ご家族とのコミュニケーション不足やユニット内や居室にお招きすることができておらず、見えない部分で不安を感じておられるのかと思いました。今

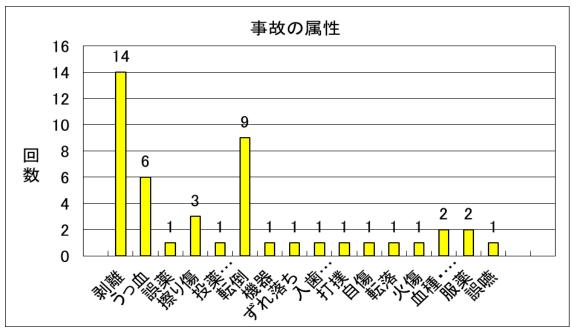
令和5年度 満足度アンケート分析結果報告

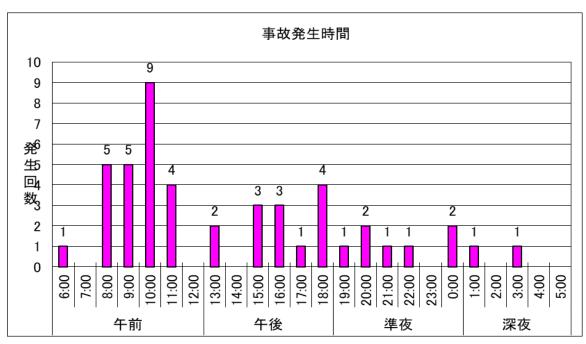
後内容を検討し改善していきたいと思います。

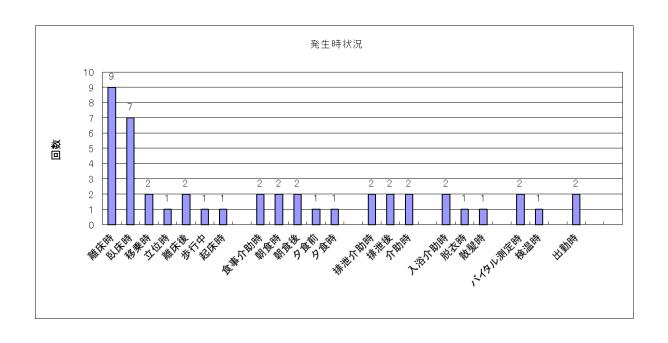
令和5年度はコロナが5類になりご家族と対面での面会ができるようになりました。施設内で過ごされるご利用者の様子が分かり、職員との関わりも徐々に増えてきたこともあって、ご家族の安心されているご意見が多くなっているのが分かります。令和5年度の満足度の平均が83.4%となり、まあ満足も含めると95.8%となりました。何より運営推進委員の方のアドバイスを頂き、アンケートの回答率が75.8%になったことが大きな成果です。今後もご利用者、ご家族がご満足頂けるよう、更なるサービスの質の向上に努めてまいります。

令和5年度 事故・ニアミス報告









事故・ニアミス(気づき)集計結果報告

令和5年度における事故ニアミス(気づき)の発生件数は46件、前年度の37件に比べ増加しております。分析結果、午前中10時前後と夕食後に居室でベッドへ移乗の際や夕食後の移乗時に剥離やうっ血、擦り傷、居室内での転倒などの事象が目立ちます。いずれも発見という形で原因は想定されたもので、明らかなものではありませんが、日頃の気づきや観察力など、事故に対する意識が変わってきたと思われます。剥離しやすい方、転倒リスクの高い方、投薬状況等、利用者お一人一人の状態が違う為、ケアの内容も違って難しい部分もありますが未然防止が大切だと考えます。高齢者を取り巻く環境の変化による影響、加齢による身体の衰えや認知症の行動などについて、今後も継続して研修を行い介護技術、知識の向上に努め、多職種との連携、情報共有を図り、安心、安全な生活が継続できるよう支援していきたいと思います。